

説 教

北浜チャーチ創立23周年記念礼拝

黒田 禎一郎

2021年6月13日(日)

主 題：「感謝の心はブーメランのようだ！」

—信仰は感謝の応答です—

テキスト：ルカ福音書17章11-19節

はじめに

- ・本日は、北浜チャーチ創立23周年記念礼拝です。
振り返れば、神の多くの祝福を受けてきました。ただ今、兄弟姉妹からの感謝の言葉がありましたが、私たち先ず神に感謝をお捧げしたいと思います。
- ・ところで私は先日、エリザベス・ノーベルという詩人が書いた「少し」という詩を読みました。 次のような詩です。
*砂糖をほんの少し入れるだけで、料理の味を変えることができる。
石鹸をほんの少し使うだけで、体をきれいにすることができる。
日差しがほんの少し差し込むだけで、新芽が力強く育つことができる。
鉛筆がほんの少し残っているだけで、美しい文を一筆書くことができる。
ろうそくがほんの少し残っているだけで、周囲を明るく照らすことができる。*
- ・皆さん。このわずかな「ほんの少し」が、月日が経つにつれ、幸せな人生と不幸な人生との差をもたらしてしまいます。小さな一つの習慣が、成功する人生を作り、失敗の人生も作るのです。
- ・良い習慣を体に覚え込ませれば、その人の人生は、今までとは違うものになります。一日感謝しただけでも、その日は幸せで特別な日となります。もし、私たちが感謝の習慣を身につけるならば、その人生は一生感謝し続ける幸せなものとなります。
- ・習慣の中でも最高の習慣は、特別な時だけではなく、日々感謝する習慣です。
「感謝しつつ 主の門に賛美しつつ その大庭に入れ。
主に感謝し御名をほめたたえよ。」 詩篇 100:4
- ・聖書には、その感謝の心を現した人と、そうではない人のストーリーがあります。それが今日のテキストです。

大切なポイント

1. 神の祝福を受けた人たち

- ・まず今日のテキストを開いてみてください。短くまとめてみましょう。

1) 10人のツァラアトに冒された人たち

イエスはエルサレムに向かう途中、サマリヤ（異邦人居住区）とガリラヤ（ユダヤ人居住区）の「境」を通られました。これは天のエルサレムに向かう私たちの人生のようですね。つまりガリラヤ（教会生活を送るキリスト者）と、サマリヤ（神を知らない社会の人々）との「境」を歩いています。

- ・イエスはある村に入られました。そこに当時重病であったツアラアト（重い皮膚病）に冒された、10人の人たちがイエス迎えました。ツアラアトは当時医学では回復は絶望の病気でした。聖書では、人の罪を象徴しています。彼らは遠く離れたところから、大声で次のように叫びました。 [ルカ福音書 17:13](#) 声を張り上げて、「イエス様、先生、私たちをあわれんでください」と言った。
- ・すると、その声を聞かれたイエスはこう言われました。
[17:14](#) イエスはこれを見て彼らに言われた。「行って、自分のからだを祭司に見せなさい。」すると彼らは行く途中できよめられた。
- ・1人のサマリヤ人の男は、自分が癒されたことが分かり、大声で神を賛美しつつ、イエスのもとに戻ってきました。そして次のように記録されています。
[17:15](#) そのうちの一人は、自分が癒やされたことが分かると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、
[17:16](#) イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。
- ・ユダヤ人から見下されていたサマリヤ人に、このような素晴らしい癒しが起こりました。なんとという幸いでしょうか。イエスはここで、次のように言われました。

2) 9人はどこにいるか

[17:17](#) すると、イエスは言われた。「十人きよめられたのではなかったか。九人はどこにいるのか。

[17:18](#) この他国人のほかに、神をあがめるために戻って来た者はいなかったのか。」

- ・イエスから癒しという祝福を受けた人々（10人）で、感謝の応答をした人はただ1人でした。それこそ、人間の姿を見せているようです。9人も同じように難病が癒され恵まれました。しかし神への感謝の応答はありませんでした。
- ・いかがでしょうか。「[9人はどこにいるのか](#)」というおことばが、聞こえるようではありませんか。応答した人はユダヤ人ではなく、サマリヤ人（異邦人）でした。ユダヤ人から見れば、見下された人でした。イエスの祝福はその異邦人におよびました。彼は大声で神をほめたたえ、イエスの前でひれ伏して神に感謝しました。

- ・私たちがいかがでしょうか？ どれだけ、神に感謝を言い表しているのでしょうか？ イエスは「9人はどこにいるのか」と尋ねられました。ここにイエスのお心を覗くことができます（イエスの痛み）。それは、イエスの次のことばに繋がります。それが第2のポイントです。

2. 信仰は感謝の応答である

1) 感謝の応答

- ・皆さん。壁に向かってボールを投げるならば、ボールはいつも自分のもとに戻ってきますね。不平を投げると不平が戻り、感謝を投げると感謝が戻り、そこには癒しと回復、そして幸福という大きな祝福があります。
- ・感謝については、実際に世界で多くの学者たちが研究をしています。心理学者たちは「感謝」が左脳の前頭前皮質を活性化させ、ストレスを緩和させると言っています。そして幸福度はアップすると言います。
- ・米国マイアミ大学の心理学教授である Michael McEnroe 氏は、次のよう述べています。

「日常で少しの間立ち止まり、私たちに与えられている感謝を考える瞬間、私たちの感情システムは、すでに恐れから脱出し、肯定的な状態に移動している。」

- ・たしかに、毎日感謝をささげる人は、不平を言う人（感謝が少ない人）に比べて、はるかに幸いな人生リズムの中に置かれています。1人のツアラアト男は、素直に、正直に、癒された喜びを感謝の心で現しました。当時、ツアラアトか否かの判定は祭司が行なっていました。
- ・彼は祭司のところへ向かう前に、自分が癒されたことが分かり、すぐさまイエスのもとへ引き返してきました。ここに彼の速やかな応答を見ることができます。もう一点、考えてみましょう。

2) ツアラアトの男の信仰

17:19 それからイエスはその人に言われた。「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」

- ・少し考えてください。このことばは、何か変に思いませんか。「あなたの信仰があなたを救ったのです。」と。考えてみると、救ったのは、イエスではなかったのでしょうか。しかし、イエスは「あなたの信仰が」と言われました。重い皮膚病ツアラアトから救われた人は、全部で10人でした。
- ・しかしイエスは、1人のツアラアトの男だけに、このように言われました。何か変に思いませんか。

- ・なぜ、イエスはこのような不思議なことばを言われたのでしょうか。2点

① 第一の祝福

- ・ツアラアトの男が救われたのは、単にツアラアトという病の救いだけではなかった、ということです。ツアラアトという大病から癒されたのは、10人でした。しかし大きな祝福を受けながら、9人は身体的癒しを経験しただけでした。しかしサマリアの男の言動には、真に回心した証がありました。
- ・イエスは彼の言動の内に、真の回心者の姿をご覧になりました。
真の回心者には、心からの感謝があります。真の回心者には、心からの礼拝があります。もう一度、彼の回心の言動をみてみましょう。
17:15 そのうちの一人は、自分が癒やされたことが分かったと、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、
17:16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリア人であった。
- ・イエスが彼に、「あなたの信仰があなたを救ったのです。」と言われたおことばには、イエスの前に進み出た彼の回心を見ることができます。(祝福)

② 第二の祝福

- ・イエスが「あなたの信仰があなたを救ったのです。」と言われた背景には、もう一つの祝福がありました。それは異邦人も「神の国」に入るものとなったことです。選民ユダヤ人が感謝を捧げたのではありません。異邦人のサマリアの男が、信仰によって救われ、そして神を礼拝するものとなりました。
- ・これは信じられないほどの祝福です。神に選ばれたユダヤ人が神に感謝の礼拝を捧げたにはありません。神の選びから遠かった異邦人が、イエスの足もとにひれ伏し感謝し、礼拝する人となりました。イエスは言われました。「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」
イエスは「立ち上がって行きなさい。」と異邦人の彼に、励ましと祝福のことばを与えられました。
- ・まさしく詩篇作者が、天の御国に入る幸いを歌ったようです。
「感謝しつつ 主の門に賛美しつつ その大庭に入れ。
主に感謝し御名をほめたたえよ。」 詩篇 100:4

- * 「あなたの信仰があなたを救ったのです。」という言葉には、2つの祝福がありました。第一の祝福は、彼は大病ツアラアトの癒しを通して真の回心にあずかり、神を礼拝する者となったことです。第二の祝福は異邦人のサマリアの男が、信仰によって立ち上がる祝福にあずかったことです。なんとという幸いではありません。感謝の心をもって、神に応答する人は幸いです。

ま と め

主 題：「感謝の心はブーメランのようだ！」

—信仰は感謝の応答です—

- ・ 今日、私たちは北浜チャーチ創23周年記念感謝礼拝を迎えています。
私たちはどのような心で、この日を迎えているのでしょうか。
- ・ 本日の説教は、10人のツアラアトに冒された人々でした。イエスのおことばによって癒された彼らは、2つに分かれました。イエスから幸いなおことば「**あなたの信仰があなたを救ったのです。**」と言われたのは、異邦人のサマリア人でした。しかし彼は感謝の心で、イエスの前で、ひれ伏して感謝の心を行い表しました。それは彼の回心の姿でした。
- ・ イエスは彼に大切なことを言われました。
 1. 9人はどこにいるのか
 2. あなたの信仰があなたを救ったのです
- ・ 私たちは今、どのような信仰を持っているのでしょうか？
サマリアの男のように、感謝心を持って、イエスの前に出て歩もうではありませんか。感謝の応答は、ブーメランのように神の祝福にあずかります。感謝の心を持ち、神を礼拝するならば、必ず神の祝福がやってきます。

* God bless you !